

平成 26 年度 未来を拓く「学び」推進事業 授業者振り返りシート

授業日時/教科・単元 平成 27 年 2 月 20 日 (金) / 現代文 宮沢賢治「永訣の朝」

授業者 板谷大介 教材作成者 板谷大介

1. 生徒の学習の評価（授業前後の変化）

(1) 3 名の生徒を取りあげて、同じ生徒の授業前と授業後の課題に対する解答がどのように変化したか示して下さい。

| 生徒 | 授業前                                                                                   | 授業後                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | <p>○作者の妹に対する強い感情が書かれていると思った。</p> <p>○地上と妹が死んでしまっていくところがつながっていることを言葉で上手く表していると思った。</p> | <p>「永訣の朝」は今までに一度勉強し終わっていて、もう一度読んで何か変わることがあるのかという疑問があった。けど、一度目のような「受身」ではなく、「主体的」に今回学習することでとても深い物語であることがわかった。</p> <p>一回、軽く読んでみるだけでも「兄」から「妹」への深い愛や絆を感じることができただけで、この中の言葉や単語一つ一つに「兄」と「妹」の感情が散りばめられていることがわかった。例えば「あめゆじゆとてちてけんじや」という言葉には、ただ単に「妹」のあめゆきを「兄」に取ってきてほしいという気持ちだけではなく、「妹」の死が近づいてきているというのを「兄」に気づいてもらいたいという妹の感情や、「妹」の死を受け入れ切れていない「兄」の背中を押してあげたいという感情がこめられていることがわかった。</p> <p>最後に、「永訣の朝」というタイトルにも深い意味がこめられていることもわかった。朝というのは必ず訪れてくる希望だという意味なんだとわかってとても感動した。</p> <p>また何回も読み返したいと思う作品だった。</p> |
| 2  | <p>・全体的にさみしい文章だなと思ったが、そのなかにあるあたたかさにとっても心がゆさぶられた。</p>                                  | <p>同じクラスなのに各班で様々な意見がでておどろいた。タイトルや自然現象の変化にも着目するなど着眼点がとても広くうらやましいと思った。聞いていると、文章からもたくさん、気づけることがあり、とし子的心情、賢治の心境がいろいろと伝わってきた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|   |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   |                                                                                                                                                                                                   | <p>ローマ字表記は兄妹の距離感を示しているという意見は特にはっとさせられた。</p> <p>前半から後半にかけて主人公の心情が変わっていく。妹思いなのは変わらず、しかし覚悟を深めていき自分に出来ることは全てやろうと思った賢治には見習いたいところがいくつもでてきたし、とても感動させられた。</p> <p>タイトルに着眼点をおいた班はとても頭のやわらかい人たちだなと思った。</p> <p>朝→太陽→希望はかならずやってくる。なぜ自分は気づけなかったんだろうか。</p> <p>今回の授業はとても自分の心の中に残るものになった。</p>                                                                                                 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・賢治の、トシに対する兄弟愛を感じた。その中でも特に「ありがたうわたくしの～いくから」の所は賢治の一生懸命な感謝の気持ちが伝わってくる。</li> <li>・「うまれてくるたて～うまれてくる」の箇所では、トシのもっと他の人のために苦しみたいという尊い自己犠牲の精神<br/>(以下余白)</li> </ul> | <p>最初、私はこの作品を「賢治の妹が死んでしまう」悲しいものだという風に解釈していました。しかし、詩の中に散りばめられた様々な賢治とトシ子の思いを感じ、この作品は決して悲しいだけの、辛いだけの詩ではないと思いました。自らが死んでしまう時、残される者に希望を持って生きてくれ、そうトシ子は賢治に伝えたかったのだと考えます。</p> <p>兜率の天の食を食べ、天に戻ったトシ子が恵みの雨のように聖い資糧をもたらす、といった考え方がとても印象的なるほど、と思いました。これは賢治の「晴耕雨読」の精神にも、そして人のために働く、人のために生きる賢治の生き方にも繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>妹と賢治の深い兄弟愛を感じました。</p> <p>読み取り方次第で様々な感じ方ができることに気づけて良かったと思います。</p> |

(2) 生徒の学習の成果について検討して下さい。授業前、授業後に生徒が答えられたことは、先生の事前の想定や「期待する解答の要素」と比べていかがでしたか。

今回、埼玉県立浦和第一女子高校に勤務する授業者、教材作成者の板谷が高知県立高知南高校を訪問し、約100分で授業を実施するにあたり、COREFの指導も受け、事前に「授業前課題」を高知南

高校国語科、田中主幹教諭に生徒に実施してもらうことを依頼し、それらの生徒の回答をもとにC o R E Fの助言も受けながらエキスパート活動の課題を練り直した（田中主幹教諭には授業案の一部も執筆していただくなどさまざまなご協力をいただいた）。

具体的には

授業前は、授業案「期待する回答要素」欄の

- |                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------|
| 1、「わたくし」は「いもうと」が死にゆくことを悲しみ、嘆いている。<br>2、そうした「わたくし」に、逆に死期の近い「いもうと」が配慮を示す。 |
|-------------------------------------------------------------------------|

……までは一部の生徒が気づいているが、

- |                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------|
| 3、それにより「わたくし」は救われ、希望をも感じて、「いもうと」の「けなげさ」がある種、世界の普遍的な尊く美しいもの、へと昇華されて欲しいと祈るようになる。 |
|--------------------------------------------------------------------------------|

に言及している生徒はいなかった。そこで、この3に生徒の注意が行くように、エキスパート資料を練り直した（この課題を資料Bとして独立させた。当初の資料Bに構想していたものは資料Aにまとめた）。

これが功を奏し、多くの生徒が期待する回答、つまり上記3の内容に言及してくれた。

今回授業が成功したのは、

- ①生徒の状況を事前に十分に把握したこと。
- ②期待する回答（つまり「3」）を明確化し、それをもとに授業をデザインしたこと。

の二つの理由によるところが大きい。

また、同欄の末尾

|                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------|
| ただし、上記に言及するだけでなく、さらに多様でユニークな気付き、一層深い読解に到達して欲しい。そして本時ではそうした部分をこそ、積極的に評価の対象にしたい。 |
|--------------------------------------------------------------------------------|

にも生徒がさまざまな回答で応じてくれた。

一例を挙げれば、「生徒1」「生徒2」が言及しているとおり、タイトルに着目し「朝は希望に通ずる」などのストーリーをくみ取った着眼点などは興味深い。

今後、教材作成、授業デザインをしてゆく上で貴重なことを学ばせていただいた。

## 2. 生徒の学習の評価（学習の様子）

生徒の学習の様子はいかがでしたか。事前の想定と比べて、気がついたこと、気になったことをあげてください。

多くの生徒がエキスパート活動で熱心に課題に取り組み、ジグソーで自分の知識を一生懸命他の生徒に説明し、皆で知恵をあわせようとしていた。その姿が非常に印象深い。

また、授業後の課題の回答の生徒達の取り組みへの集中、論述の迫力はすごかった。このように「書きたいもののイメージ」がすでに各自の頭の中にあると論述はかなりスムーズにいくのであった。「言語活動を充実させるにはどのようにしたらよいか」——そのひとつの解を生徒達が改めて見せてくれた。

なお、授業後のアンケートもC o R E Fの書式にもとづいて実施した。以下それを記す。

（回答生徒33名）

☆授業はたのしかったですか

- |                       |
|-----------------------|
| 5. とてもたのしかった 29名（88%） |
|-----------------------|

4. たのしかった 3名 (9%)
3. たのしくもつまらなくもなかった 0名
2. つまらなかった 0名
1. とてもつまらなかった 1名 (3%)

☆学校の授業全体のうち、このような進め方の授業（グループでの話し合いを中心にした授業）をどのくらいやりたいですか

5. とてもやりたい 12名 (36%)
4. 結構やりたい 13名 (40%)
3. 時にはやってもよい 6名 (18%)
2. たまにはやってもよい 1名 (3%)
1. やりたくない 1名 (3%)

①この授業を通してわかったことは何ですか。簡単に書いてみてください。(主な回答)

- 今まで、自分にはなかったと思っていた考えをちゃんと考えることが出来るんだなと分かりました。いろんな考えがあり、考えることはたのしいなということが分かりました。
- さまざまな考えがあることを知れたと思う。授業では受身である分、あまり考えることが出来ないため、よい勉強になった。
- 自分の意見とは違っているのは分かっていたけど、これほどの差があり受け取り方も様々であるとは思わなかった。すごく新鮮だった。
- むだな意見などない。
- 周りの意見を取り入れることで自分の意見が広がること。
- 一つの物語を何人もの人が読むといくつもの解釈の仕方がでてくるんだなと思いました。
- グループで話し合ったり、他のグループの意見を聞くことで、詩の内容を理解することがしやすかったです。
- 自分の意見をはっきり伝えることや班の人と協力することによって自分の考え以外のことがはっきりと分かってくるということが分かりました。
- いろいろな人の意見を聞くことにより自分とは全くちがう意見がきけてとてもおもしろかったです。
- 意見を出し合うことはたのしいこと。
- 知識を学ぶ授業では気がつけなかった描写や文にこもっている作者の気持ちを学ぶことが出来ました。
- 古典文学の奥深さが分かった。文章の1つ1つにもたくさんの意味がこめられていることもわかった。
- 何度も読むことによって新しいことに気づくことが出来る。仲間と話し合っただけでさらさら新しい考えが生まれる。
- 皆がどのように作品を読んでいるのか分かった。
- 他の人の意見が違うこと、考えもしなかったこと、とてもおもしろく、それをまとめる難しさを感じた。
- (一斉) 授業よりももっと文章に触れられたので良かった。
- 言葉一つ一つに感情が隠れていて、無駄な言葉はないのだと分かりました。

■自分の意見を出した上で、他の人の意見を聞いて、自分の意見を考え直すことで、新たな考えが生まれる。

■自分たちで考えることでいくつもの考えが出てきて、教えてもらう授業では答が一つしか見つからなかったけど、今回の授業ではいくつもでてきて楽しかった。

■人と一緒に考えることでいろいろな考えが得られる！

②この授業で疑問に思ったことや、もっと知りたくなったことがあれば書いてみてください。(主な回答)

■もっと他の人の意見を知りたくなりました。

■他の作品にも込められている気持ちがあるのだろうかと思いました。

■もっとこのような授業をしているんな題材のことについて知りたい。

■他にも宮沢賢治だけでなく、さまざまな作品や小説を読み取っていきたい。

■永訣の朝のことをもっと知りたくなった。

### 3. 授業の改善点

生徒の学習の成果や学習の様子を踏まえ、次の3点について今回の授業の改善点を挙げて下さい。

#### (1) 授業デザイン(課題の設定、エキスパートの設定、ゴールの設定、既有知識の見積もりなど)

今回、勤務校と異なる学校で授業を初めて実施した。こうした際、上記のように授業前の生徒の回答を見る、など工夫することが非常に重要だと認識した。

今回はC o R E Fの指導を受けたが、また同様の機会が、わたくしに、そして他の全国の先生方に訪れた場合、次回からは今回のノウハウを生かし、わたくしが指導を受けずに授業デザインをし、また他の先生方にも助言を出来るようにしてゆきたい。

そして、多くの先生が指導を受け、そして指導者になり、「ジグソー法」のネットワークがどんどん広がることを期待する。

#### (2) 課題や資料の提示(発問、資料の内容、ワークシートの形式など)

今回、わたくしの過去の教材群から、高知南高校の田中主幹教諭に教材選定を依頼した。そのようにして選んで頂いた「永訣の朝」を上記の通り、「期待する回答」が生徒から出るように組み替えた。こうした生徒の実態に適合した課題設定、資料提示が極めて重要で、そのために教材を柔軟に組み替える迅速な対応の大切さも認識した。

#### (3) その他(授業中の支援、授業の進め方など)

今回の授業では、はじめて接する生徒達に授業を実施したため、エキスパート、ジグソーの最中、ずっと机間巡視等を行い、生徒が適切な方向で対話を行っていない場合に介入しようとした。実際数回、生徒に介入した。例えば、エキスパートAでプラスイメージの語(I群)とマイナスイメージの語(II

群)のプラスマイナスを逆に取って違えていた班があったのでそれは修正した。このようなその場に応じた対応の重要性も学んだ。

最後に一言。わたくし自身、他校、もっと言えば他県で授業を行ったのは初めてであるが、わたくし自身にとって学ぶところが多く、また、わたくしに限らず、このようなころみは極めて重要で、多くの先生方が学校を越えて、そして地域を越えて他の学校の他の先生方や生徒児童と触れ合うことが教師にとっても、児童生徒にとってもいろいろな意味で極めて良い影響を与えるものと確信する。次は本校に高知県の先生にぜひ来て頂きたいし、同様の試みが全国のあちこちで頻繁になされるとよいであろう。

人間はともすると閉鎖的になりやすい。学校も閉鎖的だ、と批判されることがある。これはアンリ・ベルクソンの言えば「閉じた社会」であろう(『道徳と宗教の二源泉』)。ここからは何ら生産的なもの、創造的なものは生まれ得ない。未来を拓く児童・生徒のためにも、ベルクソンの言う「開いた社会」(教師の立場で言えば「開かれた学校」「開かれた教育」)のためにも、われわれ現教師が「情熱」をもって21世紀の新たな教育の姿を描き出していくよう「努力」してゆかねばならない。